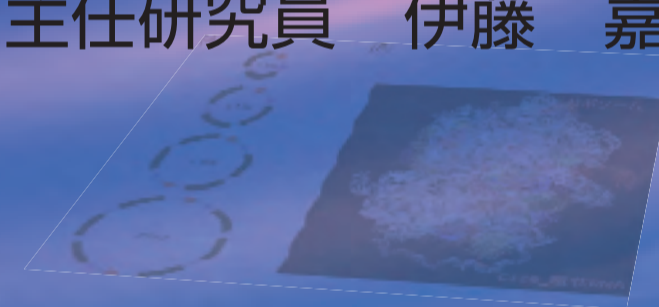
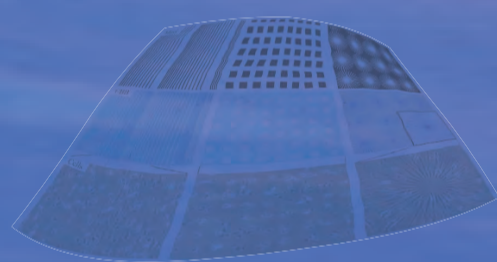


第9回 理研

「バイオものづくり」 シンポジウム

独立行政法人理化学研究所は平成25年度に大きな組織変更があり、その中の一つで創発物性研究センターが創設され、創発生体工学材料研究チームが発足しました。ここでは、これまで伊藤ナノ医工学研究室で培ってきた化学とバイオテクノロジーの融合技術を、医療応用を指向した材料開発だけでなく、広くエネルギー変換、エレクトロニクスなどへも応用すべく研究を進めています。本年も「バイオものづくり」に関して活発に研究展開されています先生方を招へいしてシンポジウムを開催します。

(独)理化学研究所 伊藤ナノ医工学研究室 主任研究員 伊藤 嘉浩



日時：2014年3月13日(木)

場所：独立行政法人理化学研究所 研究交流棟3階会議室

プログラム・講演者

10:00-10:40	理研	鵜澤 尊規	光増感RNAモジュールの創出
10:40-11:20	信州大学	伊原 正喜	分子進化工学的手法によるギ酸デヒドロゲナーゼ及びヒドロゲナーゼの改良
11:20-12:20	東京大学	村上 裕	高速進化分子法の開発と阻害剤創製への応用
13:30-14:30	ジェナシス(株)	北村幸一郎	cDNA display技術による新規機能性ペプチドの創出
14:30-15:30	東京大学	山東 信介	超高感度生体分子計測:生体における化学の理解を目指して
15:45-16:45	京都大学	浜地 格	天然タンパク質をバイオプローブへ変換する生細胞化学
16:45-17:45	京都大学	木村 俊作	分子ダイポール工学を基盤とするペプチド材料の創成

協賛：日本化学会・高分子学会・日本薬学会・日本生化学会・日本生物工学会・日本生物物理学会・日本バイオマテリアル学会・日本DDS学会・日本人工臓器学会

詳細は下記HPをご参照ください。

<http://www.riken.jp/pr/events/symposia/>

参加申し込み・問い合わせ a-nose@riken.jp

このシンポジウムは、理研シンポジウムの一環として行われています

This Symposium is a part of RIKEN Symposium Series.

